当院では下記の臨床研究に用いるため，患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので，お知らせいたします。

研究課題名：　弘前大学医学部附属病院における悪性黒色腫治療の後方視的研究

研究の目的

近年、悪性黒色腫は全国的に増加傾向であり、弘前大学医学部附属病院皮膚科（以下、当科）においてもその傾向があります。本課題の目的は、当科において診療を行った悪性黒色腫における、患者さんの特徴・検査結果・治療効果を抽出し、化学療法後の予後に与える因子を見出し、今後の診療に役立てることです。

研究実施期間：　2022 年 12 月 9 日　～　2027 年　3 月　31 日

対象となる方：　2012 年 4 月 1 日～2022 年 10 月 31 日の期間に、当科で診療を行った悪性黒色腫の患者さん。

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに保存されている、以下の情報を本研究課題実施のために利用します。

1) 臨床所見(年齢、性別、臨床病型、臨床病期、前治療の有無)
2) 検査所見(血清 LDH 値、BRAF 変異)
3) 病理学的所見(PD-L1 の発現率)
4) 治療(実施された化学療法の種類、投与期間、投与回数)
   解析の対象とする化学療法は、Ipilimumab+Nivolumab 併用療法、Nivolumab 単剤療法、Pembrolizumab 単剤療法、Dabrafenib＋Trametinib 併用療法、Encorafenib＋Binimetinib 併用療法、Dacarbazine 療法です。
5) 生じた副作用の内容と重症度
6) 治療反応（画像検査結果）
7) 予後（全生存期間、無増悪生存期間）

具体的には、化学療法ごとの奏効率、生存期間を求め、上記 1)-5)の因子が与える影響を統計学的に評価します。

なお，利用に当たっては氏名，住所，電話番号，患者番号等個人を特定できる情報を削除し，本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます），行います。

研究成果については，学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが，その内容から対象者個人が特定されることはありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが，希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について，より詳細な内容をお知りになりたい場合や，試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は，以下の連絡先までご連絡ください。

Ver.2　　2025 年 1 月 1 日作成

研究への利用に同意いただけない場合，当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし，連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は，該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので，ご了承願います。

本件連絡先	皮膚科・六戸 大樹　　連絡先　電話 0172-39-5087

Ver.2　　2025 年 1 月 1 日作成